



森ボラ 通信

NPO 法人

第 254 号 2023 年 7 月 20 日発行
北海道森林ボランティア協会

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸 1 条 1 丁目 8-8 ラルズ生活研究センター

TEL (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

■ 活動報告

◆ 2023 年度第 2 回親子森林教室活動報告

6 月 11 日、今年度 2 回目の親子森林教室が 12 名の「森しり隊員」と保護者 10 名、協会員 17 名、合計 39 名の参加で、清々しい晴天の下で開催されました。昨年度と同様に午前中は播種体験です。初めての隊員は駐車場前のエゾヤマザクラを、2 年目以降の隊員は少し離れた E 3 地区まで歩いてオヒョウニレの種を採取します。今年のエゾヤマザクラは熟した実が少なかったのですが何とか予定数を採取し、砂擦り後、水の中に入れて沈んだ



種を選別して準備完了。オヒョウ 拾った種をポットに播く
ウニレの種は数粒しかなく予備
に用意したハルニレの種を代用して隊員それぞれ 2 種類の種を
ポットに植え付けて名前を書いて苗畑エリアに置きました。上
手く芽吹いてくれる事を祈りましょう！

午後はみんなで上流橋の途中にある池まで行ってエゾアカガ
エルとエゾサンショウウオの観察です。代表の隊員が上手に網
ですくって水槽に移しみんなで観察しました。あとひと月もす
れば池も干上がってしまうので、それまで何とか育て欲しい



エゾサンショウウオの観察

と願いつつリリースしました。

その後は「森の活動フリータイム」として「森の花の観察」班と「チップパー作業体験」班のどちらかを選択しての活動です。

森の花の観察は中流橋からキャリコ橋を歩いて広場まで木育マイスターである西野澄子さんの解説で森歩きです。珍しいギンリョウソウなど沢山の草花に出会う事が出来ました。

チップパー班は E 8 区まで歩いて森の中の小枝を集め、それぞれがチップパーに入れてチップ状に砕かれる事を体験しました。

木漏れ日の中、気持ちの良い汗をかきながら、澄川の森を十分に堪能できた一日でした。

(文：事務局)



森の花を探して中流橋を渡る

■ 特別寄稿

◆ 息子と「アフンの森」へ

寄稿者「親子森林教室参加者 二郷 史絵」

今年のゴールデンウィークに、母息子 2 人旅でずっと念願だった長野県の黒姫にある「アフンの森」に行って参りました。その時の私自身の印象をこの度、森ボラ通信にて紹介させていただきます。日々の育林活動のみならず、これまで各地の様々な森の見学もされてきた森ボラのみなさんにお伝えするというのは、大変恐縮なのですが…

小樽から一晩かけてフェリーで新潟まで行き、そこから JR 信越本線、しなの鉄道など乗り継いでまずは長野市へ向かい、夕暮れ時の善光寺を参拝。民宿に泊って、翌朝信濃町黒姫に到着。なんと札幌同様にまだ桜が咲いていました。五月晴れの空の下、私たちは残雪の妙高高原や、軒先で泳いでいる大きな鯉のぼりや、まだ新芽の農家の畑、庭の花々などにも時折目をやりながら、WITH YOU をこいで「アフアの森」の入口を目指しました。(ちなみに、息子はフェリー乗船が旅の一番の目的でした。旅程、電車の長距離利用は母の趣味です)



弥彦神社の御神木のケヤキに触れる筆者

C. W. ニコルさんの「アフアの森」のことは解剖学者の養老孟司さんの本で知りました。そのアフアの森は、予想に違わず実に美しい森でした。多くの落葉樹に囲まれながらも明るい日差しが差し込み、あちこちで木洩れ日も揺れて、広々とした奥行が続いていました。鳥がさえずり、小道の足元にはさりげなく早春の森の花々が顔をのぞかせていました。あの心地良さは札幌の我が澄川の森のようでした。見学者は私たちだけで、「貸し切り」の森をスタッフのフクチさんのお話を聞きながら2時間ほどかけて散策しました。私は写真撮影やメモはせず、森の木々の葉、池の水面の色味、坂道の感触、風のおい、動物の気配などを全身で感じ、味わおうとしていました。



アフアの森のフクロウの巣箱

途中、地域の子どもたちは、この森でどんなことしてるのか尋ねると、毎年、障害がある子どもたちに数日間連続で森に来てもらって、ゆっくりと森で過ごしてもらおう、と教えてくれました。そして、この森の中でなら何でも、どうしても無理かなということでも「なーんでも君がやりたいことをしてみたいよ」と言って挑戦してもらってるとのこと。木登り、家作り、飛んでみる、などのリクエストにスタッフのみなさんが、それはもう毎回必死で工夫して準備をしているそうです。また、スマホもゲーム機もないこんな森なんて絶対無理と、最初は思ってた子でも、毎日森で過ごし、遊んでいると必ず変わっていき

ます、とも。そして「ここは、子どもたちと生き物たちには天国です」とフクチさんがきっぱりと言ったとき、私ははっとしてしまいました。それまでの穏やかな語り口のフクチさんの印象とは違う、厳しさというか、強い自負の心のようなものを感じました。それは、もしかしたら、ニコルさんが1980年代に「幽霊森」と呼ばれていたこの森を自分が生き返らせようと決意した当初、周囲から受けた様々な困難(そんなことできるわけないという偏見、利害関係などの世間のしがらみなど)に負けまいという強い気持ち、ニコルさんが亡き今も確かに受け継がれているからかもしれません。



アフアの森に咲いていたフデリンドウ

「アフアの森」で、私が一番素晴らしいと感じたこと、それは不思議な「静けさ」だったのかなあとと思います。物言わぬあらゆる生き物たちが生きていける場所、大人が何も言わずとも小さな子どもたちにあらゆる好奇心、驚き、感覚を抱かせる場所、いわば「声なき声」であふれてる森、そんな静けさだったのでしょか。

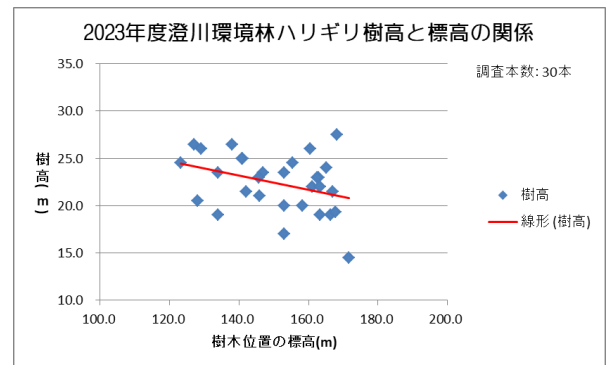
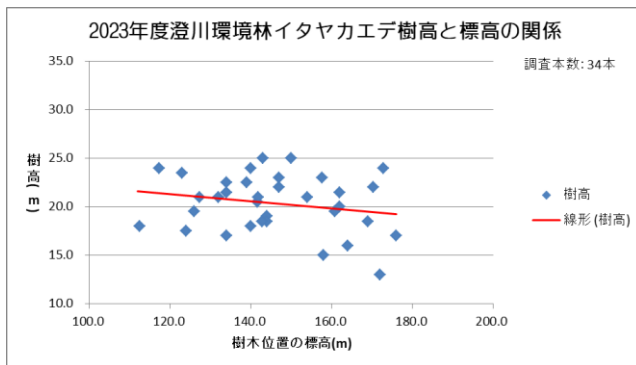
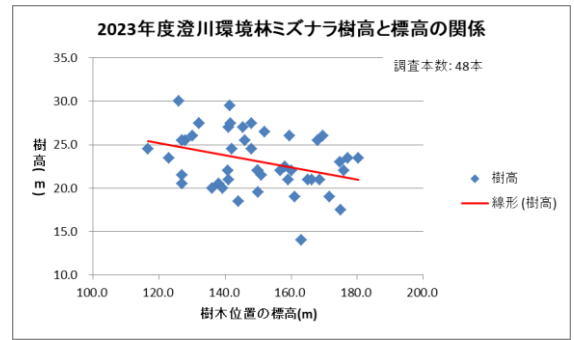
…予定の枚数を超過してしまいました！ 樫棒さんご推薦の新潟県の弥彦山から見下ろした田んぼと海岸線の景色のことと森しり隊員の我が息子の感想が書けませんでした。「大切なことは言葉にならない」(養老孟司)です。「子どもを育てることは、森や田んぼを手入れするのと同じこと」(これもまた養老孟司)というわけで、森ボラのスタッフの皆さん、今後とも私たち親子にご指導のほど、どうぞよろしくお願いたします！

◆澄川環境林標準木調査報告<その3>

今回は樹種毎の樹高と標高について考察を試みましたので報告します。

樹種は澄川を代表し調査本数が多い、ミズナラ、イタヤカエデ、ハリギリとしました。それぞれの樹高と携帯GPSで調べた地表高さをグラフに示し、それに近似曲線を挿入しました。いずれの樹種も標高が高い位置にあると樹高が小さいことが読み取れます。これは風の影響と考えられますがいかがでしょうか。

また近似曲線の傾きはハリギリが大きく、イタヤカエデは小さくなっています。これはハリギリが風の影響を受けやすいと考えられます。葉っぱの大きさが関係しているのでしょうか。不思議ですなー！ (文・樫棒)



◆千歳市『巨木の森』を訪ねて

6月28日前日からのぶんぶんの森活動を終えて、千歳市美笛国有林『巨木の森』を久しぶりに訪れました。初めての方も多く、静かに確かに生きている姿に圧倒され、物も言わずに見とれていました。胸高直径1mを超す樹種はカツラ、ヤチダモ、ミズナラ、ハリギリが多く見られ、特にカツラは数百年も経ていると思われ1株に5~10本が直立し直径は3mを超え、周辺を威圧しているように感じられました。訪れる人は少ないと思われませんが、樹種、直径、推定樹齢などの説明板が欲しいと思いました。

(文・事務局)



■ 澄川の自然 47

ツルアジサイ(ユキノシタ科)

澄川の森全体を見てみると、その地区や地域で植生の群がある様に思います。ツルアジサイはE-3、E-5の尾根付近とB-2地区に多く見られます。以前、この辺りの間伐作業の時、蔓を見つけると、あっ！と云う間に鉋を振り上げて切ってしまう人が多く、“悪さをしていなければ残して”と随分言いました。この写真は、B-2地区で6月30日の活動日に写したものです。標準木になっているケヤマハンノキに伝っているツルアジサイです。支笏湖、水明郷のトドマツに伝っている堂々としたすばらしいツルアジサイには及びませんが、澄川のツルアジサイも負けない位の大きさ、美しさに成長しています。うれしくなりました。 写真・文/西野(澄)



■今月の幹事会

出席者(7/5):大窪・荻田・檀棒・加藤・清澤・西野(澄)・松藤・矢野・平・老田

1. 2023年8,9月活動スケジュール(8月幹事会8/9(水)):了承
2. 2023年6月会計報告:了承
3. 2023年度森林・山林多面交付金事業6月報告:了承
4. 2023年度親子森林教室第3回活動スケジュール:熊出没情報からホテル観賞・コウモリ探索は中止。
5. 2023年度トムソーヤスクール企画コンテスト:採用が決まりました。
6. 札幌市みどりの管理課打合せ:6/20 不法投棄看板設置、整理伐材の処分、北地区作業道・避難小屋・仮設トイレについて継続して協議。
7. 樹木園整備計画:1ha 当り本数が現在1045本から整理して800本程度に。アオダモ、ハルニレを植栽または移植。今後整理伐を行う。
8. 現場報告
 - ・6/21 第1回じょうてつ森活動実施:了承。 植樹用苗の調達:了承。
 - ・6/27 ぶんぶんの森除伐調査:今後も推移を見守る。 整理伐状況:了承。
9. その他
 - ・石狩森林管理署への要望:業者による野幌地帯は秋以降。水明のイヌエンジュ除伐はOK。
 - ・8/26 炭焼きイベント:移動式炭化炉使用。化粧炭作成、パーベキュー。27日朝まで監視。
 - ・薪材のスイス積:試行了承。 チッパー破損:ケーブル類の破損、修理依頼。了承
 - ・新ホームページ仮公開:了承。 グループ活動届け出:是非に届を提出、活動参加に掲載。
 - ・20周年記念研修旅行:10/30~11/2 近畿地方(速水林業、北大和歌山研究林)視察。8月募集済。

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
6月16日(金)	澄川	12	澄南小3年マイツリ-観察支援、E-8区整理伐、材出し
6月19日(月)	野幌道有林	10	下草刈り
6月21日(水)	澄川	15	じょうてつCSR支援、澄南小6年観察会支援、ホダ場
6月23日(金)	野幌国有林(トロッコ)	7	49林班笹草刈り
6月25日(日)	澄川	16	熱中症対策講習会、水質調査勉強会、作業道草刈り
6月27日(火)	支笏湖(ぶんぶんの森)	10	標準列整理、作業道草刈り、標準地調査
6月28日(水)	支笏湖美笛	8	「巨木の森」訪問
6月30日(金)	澄川	14	刈払い機安全操作講習、作業道草刈り、ホダ場整備
7月4日(火)	野幌道有林	11	下草刈り
7月5日(水)	ウス研究センター2F会議室	10	幹事会
7月7日(金)	澄川	14	じょうてつ役員視察、澄南小4年観察会、機器整備
7月9日(日)	澄川	12	第3回親子森林教室(草刈り、工作、コウモリの話)
7月11日(火)	西野第二	6	枯損木整理伐、笹刈り、標準地調査
7月13日(木)	支笏湖(鳥柵舞)	14	下草刈り、植栽列両側の枝整理
7月14日(金)		14	作業道草刈り、植栽列両側の枝整理、記念樹点検